

〔 目 次 〕

本書を正しく理解するために	8
---------------------	---

第 1 章 トータルヘルスプログラムとは何か？

1. 理想の歯科医療を求め続けて

1 歯科疾患を根絶したい・誠心誠意治療していた開業当時	10
2 質の高い治療に方向転換、ここでも第二の壁が	10
3 北欧型予防歯科との出会い	11
4 悪くなる前から歯科医院に来院するという発想へ	12
5 他の歯科医院でも一様の結果を出せるシステムへ	13

2. 今なぜ、トータルヘルスプログラムなのか？

1 本来あるべき歯科医療とは	14
①場当り的な歯科治療への疑問	14
2 検査に基づく確かな歯科医療を実践するために	15

3. トータルヘルスプログラムができるまで

1 フルマウスディスインフェクションの長所を生かし、短所を補う	16
①基本柱としてのフルマウスディスインフェクション(FMD)とその長所	16
② FMD の短所「菌血症」の予防対策としての口腔機能水の開発	16
③口腔機能水の短所を補うアスコルビン酸の応用	17
④細菌の「量」から「質」の改善へ：抗菌薬やプロバイオティクスの応用	18
⑤歯科医師 1 人で行うことの限界	19
2 患者さんへの恩恵とメリット	20

4. トータルヘルスプログラムの流れと概要

1 本プログラムの基本ステップ	21
2 各ステップの考え方と概要	22
3 トータルな健康の実現をめざして	28
①トータルヘルスプログラムがめざす 3 つの健康の形	28

5. トータルヘルスプログラムの基盤となるチームの重要性

1 医院全体で取り組まなければ意味がない	29
----------------------------	----

第2章 トータルヘルスプログラムのストラテジー

1. 導入医院すべてが成功するその理由

1 患者さん満足を徹底的に追求する T.H.P.	32
①患者-術者間の二人三脚体制が生み出す患者満足	32
②「尊敬と信頼」から生まれる患者満足	33
③自分にあった医院を選べることによる患者満足	34

2. T.H.P. が医院と患者さんにもたらす好循環

1 ゴールの共有による安心と信頼の臨床	35
2 自由診療への価値観の向上	35
3 長期的に安定した治療の実現	36

3. T.H.P. がチームにもたらす好循環

1 結果の出せるチームが育つ	37
①受付	37
②メディカルトリートメントコーディネイター	37
③歯科助手	38
④その他のスタッフ	39

4. 自由診療率が向上するその理由

1 段階をふんで患者満足度をあげる T.H.P. のしくみ	40
-------------------------------------	----

5. T.H.P. 認定歯科医院の声から

自院では完成できなかった最後のパズルがはまった	44
導入前の悩みは何だったのか	44
歯科衛生士の院内での地位が変わった	45
医療者それぞれが収益に関わることのできる医院を実現	46
治療後のメンテナンスの問題を解決してくれた T.H.P.	46
結婚退職が夢だった歯科衛生士がプロにめざめた	47
認定までの厳しい道のりが与えてくれた自信とやりがい	48
二人三脚で患者さんと歩める喜び	48

第3章 トータルヘルスプログラムの実際

STEP 1	カウンセリング	52
STEP 2	検査	53
STEP 3	施術	74
STEP 4	再評価	83
STEP 5	予防メンテナンス	89

第4章 トータルヘルスプログラム・その根拠を探る

1. 非外科療法への不安に答えて

1 歯周組織を健全に維持するために	102
非外科療法にて口腔内細菌の質のコントロールと歯周組織再生効果を得た症例から	103
歯周炎 Q & A/非外科的療法 Q & A/ 予防 Q & A	108

2. 口腔機能水とアスコルビン酸応用の根拠と効果

1 T.H.P. ウォーターの実験結果から	115
2 抗酸化対策としての抗酸化物質に関する実験結果から	119